

採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	千葉大学
拠点のプログラム名称	持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点
中核となる専攻等名	社会文化科学研究科都市研究専攻
事業推進担当者	(リーダー) 廣井良典 教授 外11名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>人口減少、高齢社会、地球温暖化などに直面する現在、経済成長を前提とする社会制度を早急に切り替え、成長を前提としない「持続可能な福祉社会」を実現することが必要である。その実現のため、本研究教育拠点は、以下の三つの革新的な機軸を備える。第一に、「福祉（社会保障）政策と環境政策の統合」である。これまで別個に研究されてきた2領域を統合して、「持続可能な福祉社会」のモデルを構想していく。第二に、「哲学的・思想的研究と経験的・実証的研究の融合を通じた公共研究の確立」である。公共研究は、あるべき公共の姿を示す規範的哲学的研究、オルタナティブな社会モデルを歴史的・国際的に探求する経験的歴史的研究、課題の解決策を提言する政策研究からなる。第三に、「市民社会との直接的な対話・交流」である。大学とNPO・NGO等との新しい連携・研究拠点モデルを構築し、それを通じた新たな学問のあり方の創造を目指す。本拠点は、以上の革新的な機軸をもって、「持続可能な福祉社会」の実現のための教育研究拠点を形成するものである。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p><コメント></p> <p>日本の将来を見据えた上での、意欲的・挑戦的な拠点形成計画である。特に、持続可能な福祉社会のモデルの構想・公共研究・市民社会との対話の三者を有機的に統合して拠点形成を進めようとしている点が、革新的学術分野と呼ぶにふさわしい。さらに、今日の問題に、理論と実践の両面から取り組む姿勢がみられ、世界水準の拠点形成に向けた努力が感じられる。</p>	
<p><革新的な学術分野であるポイント></p> <p>持続可能な福祉社会、公共研究及び市民社会との対話という三つの機軸を有機的に統合して拠点形成を進め、NPOやNGOとの連携モデルを構築しながら革新的な学術分野の開拓を目指す拠点形成計画である。</p>	